

新たな一歩を、 地域のみなさんと一緒に

鹿児島南特別支援学校

本校は、県立桜丘養護学校の児童生徒の増加による教室不足と高等部未設置の課題を解決するために、令和5年4月、鹿児島市谷山地区の旧鹿児島県農業試験場跡地に、鹿児島県立鹿児島南特別支援学校として開校しました。児童生徒数339人、教職員170人でスタートし、日々、「高く 広く 豊かに」という校訓のもと、教育活動に取り組んでいます。

みなさんの想いと ともに「始動」

本校は、多くの県民のみなさんの長年の夢を実現すべく本年4月に開校しました。その校舎は一人一人の児童生徒の障害特性に対応できるように設計されています。

校舎の中心には、幅6mの中央廊下（メインストリート）があり、車椅子の児童生徒も安全に移動できるように設計されています。また、全教室に上下可動ホワイトボードやタータントラックと天然芝フィールドからなる運動場、2段階水深の室内温水プールなど、障害のある児童生徒の多様に配慮した様々な工夫が施された校舎となっています。

「高く 広く 豊かに」という校訓のもと、児童生徒が将来の社会参加と自立に向けて、一人一人の可能性やよさを伸ば

し、元気に明るく楽しく学習できるよう職員一丸となって教育実践に取り組んでいます。

健やかな心と体 「高く」

私たち教職員がまず大切にしていること、それは、「健やかな心と体を育み、生き抜く力を高める」ということです。様々な障害種の児童生徒が在籍していますが、まずは、人権を尊重し、心情等に寄り添うと共に、障害の状態に応じた丁寧なかかわりをしています。そして、一人一人の障害の特性に応じた確かな学びのために、障害特性や実態に応じた手立てを考える教育を実践しています。



本校の全景



開校記念式典・鹿児島県知事あいさつ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進すべく、私たち教職員は児童生徒一人一人の「できる環境づくり」を考え、学びを「高く」する教育を実践しています。

興味や関心、 自他を認め「広く」

授業は、常に児童生徒の興味・関心からスタートし、「主体的な学び」ができるように工夫しています。この実践から、児童生徒は新たな興味・関心をもつことができ、確かな学びへとつながります。

また、地域の学校との交流及び共同学習を実施して、地域の児童生徒のみなさんと一緒に学習できる環境も整えています。さらに今後は、本校高等部生徒が作業学習で製作した製品の販売や喫茶のサービスを地域の

新たな確かな歴史を 地域とともに

開校とともに多くの県民のみなさんに来校していただいています。多くの計画的な見学や授業参観のほか、地域の方々の突然の来校も多くあります。そこには、県民のみなさんの本校に対する温かいメッセージが常にあります。

よさや可能性 「豊かに」

私たちは日々、「主体的・対話的な学び」の教育実践をし、更に自立と社会参加につながるよう「深い学び」の実践もしています。それは、児童生徒一人一人の「よさや可能性」を伸ばす教育実践です。つまり、教職員は児童生徒一人一人の「よさ」に着目した「オーダーメイドの手立て」による授業を展開しています。

また、小学部一年から各ステージにおけるキャリア教育の視点を大切にしながら、卒業後の「豊かな生活」につ



小学部運動会



中学部体育大会



高等部スポーツ大会

（教頭 岡元 明広）